

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・コロナ禍における活動の制限が解除されたこともあり、低学年に限らず、中学年や高学年の児童でも、意欲的に歌う児童が多く見られた。
- ・鑑賞や音楽づくりでICTを活用し、考えを交流する場を設けたことで、児童が自分の考えを深めていく姿が見られた。

(2) 課題

- ・リコーダーの学習では、リコーダーホールの押さえ方に課題があるなど、技能面での躓きが多い。音色を意識して演奏する部分まで高めることができていない。
- ・歌唱も器楽演奏も意欲的に取り組むが、お互いの声を聴き合って歌ったり、お互いの音を意識しながら楽器を演奏したりするところまで取り組ませることができなかった。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりと言葉を発音させるために、口の形を意識させながら歌詞を音読させたり、歌ったりさせたりする場面をつくる。 ・鍵盤ハーモニカの基本的な奏法（姿勢・息使い・運指）が定着するように繰り返し指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・階名唱や部分演奏、リズム演奏を組み合わせた練習で鍵盤ハーモニカの演奏技能を高め、その上で、自分の思いや意図をもって演奏できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、親しみやすい楽曲を取り入れて、音楽に合わせて体を動かす活動から音楽の楽しさを感じられるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間授業の最初に発声練習を行い、声の響きを意識して歌う習慣をつけさせる。また、友達の声を意識させる場面を多く設定し、周りの声に自分の声を溶け込ませて歌うことを意識させる。 ・リコーダーの基本的な奏法（姿勢・息使い・運指）が定着するように、繰り返し指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図をもって、歌ったり、演奏したりできるように、歌詞の内容や、曲想と音楽の構造との関わりを考えさせる場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に集中できるような授業展開にするために、ICTを活用し、視覚的に理解しやすくしたり、毎時間のめあてを具体的に示したりする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間授業の最初に発声練習を行い、声の響きを意識して歌う習慣をつけさせる。 ・器楽合奏では、全体の響きや音のバランスを意識しながら演奏に取り組むことができるように、聴くことに集中する場面をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、旋律の動きや伴奏から、曲想を生かした表現を工夫して歌えるようにするために、他のパートの声や伴奏の音を集中して聴くことのできる場面をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に集中できるような授業展開にするために、ICTを活用し、視覚的に理解しやすくしたり、毎時間のめあてを示したりする。 ・合唱や合奏を友達と作り上げる活動を通して、達成感や感動を共有し、音楽に対する興味・関心を高める。

4 重点指導事項

- 歌唱や器楽演奏の場面では、基礎的な部分から段階的に指導を進め、確実に知識や技能が習得できるようにする。(知識・技能)
- 低・中学年：曲の特徴について具体的な表現方法を様々に試すなど、表現を工夫する楽しさを味わわせたり、表現が豊かに変容したことを価値づけて全体に共有したりすることで、自分の思いや意図を膨らませ、歌唱や演奏で表現できるようにする。(思考・判断・表現)
 高学年：自分の歌声を全体の中で調和させて歌うことができるようにするために、日常から周りの音を意識させる声掛けを行う。(思考・判断・表現)
- 合唱や合奏を友達と作り上げる活動を通して、達成感や感動を共有し、音楽に対する興味・関心を高める。
 (主体的に学習に取り組む態度)